NEWS RELEASE

2025 年 12 月 4 日
株式会社みずほ銀行
株式会社 Blue Lab

オープンイノベーション型事業開発の取り組みと探索投資ファンドの立ち上げについて

株式会社みずほ銀行（頭取：加藤 勝彦、以下「みずほ銀行」）および株式会社 Blue Lab（代表取締役：中馬 和彦、以下「Blue Lab」）は、事業開発戦略を大きく転換し、オープンイノベーション型事業開発の取り組みを開始するとともに、探索投資ファンドを新たに立ち上げることを決定しました。

これまで〈みずほ〉は、自ら“0”から“1”を生み出す事業開発に積極的に取り組んできましたが、新規事業創出のスピードや事業化後のスケールの拡大が課題となっていました。近年、AI の進化によるイノベーションの加速や地政学リスクの高まりなど、産業を取り巻く環境が大きく変化するなか、より高度で持続的な価値創出を実現するためには、従来の枠組みを超えた取り組みが必要となっています。

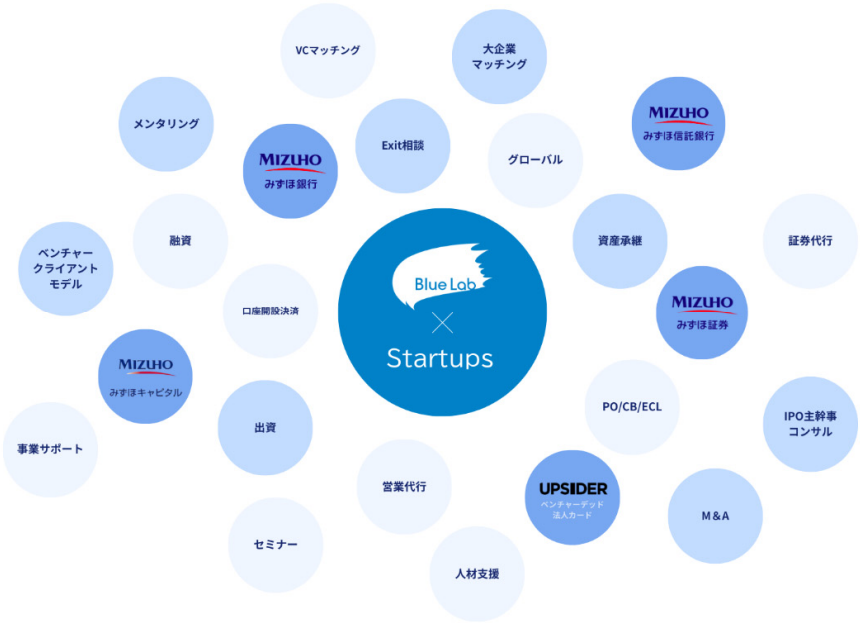
このような環境下、〈みずほ〉はスタートアップをはじめとする多様なパートナーとの連携によるオープンイノベーション型事業開発へと戦略を大きく転換します。外部の発想・知見・技術を積極的に取り入れ、〈みずほ〉の幅広いネットワークを活用し、複数のパートナーや事業を融合させることで、より大きなスケールで新たな事業や産業の創出を目指すとともに、日本の産業競争力の向上や成長戦略の推進をサポートしていきます。

この戦略転換に伴い、将来の有望領域の探索を目的とした、シード・アーリー段階のスタートアップを中心に投資する Blue Lab 1 号投資事業有限責任組合（Blue Lab Fund）を新設します。これに先立ち、Blue Lab はみずほ銀行の 100%子会社となり、ファンドの運営会社として投資業務に専念します。また、みずほ銀行内に「事業共創部」を新設し、事業開発を専門に推進する体制を整備しました。

大企業、官公庁・自治体、大学・研究機関、マーケット、個人のお客さまなど、〈みずほ〉が持つ幅広いネットワークと投資先を含むパートナーとの連携をさらに加速させるとともに、銀行・信託・証券を含めたグループ各社のソリューションを活用し、事業開発に資する総合的な支援を提供していきます。

これらの取り組みを通じて、〈みずほ〉は早期からの資本参画や切れ目のない支援に加えて、自ら事業主体の一員として事業成長をともに推進し、金融・非金融の枠をこえたスタートアップの成長パートナーとして、業界・産業全体の発展とエコシステム形成に広く貢献していきます。

■みずほグループ各社とのソリューション連携イメージ



■Blue Lab について

	変更前	変更後（2025/12/1 付）
商号	株式会社 Blue Lab	（変更なし）
所在	東京都港区虎ノ門１－１７－１	東京都千代田区大手町１－５－５
代表取締役	田中 豊人	中馬 和彦
株主構成	株式会社 WiL47.71% 株式会社みずほフィナンシャルグループ 12.9%、他	株式会社みずほ銀行 100%
ホームページ	https://www.bluelab.co.jp/	（変更なし）

■Blue Lab Fund について

	新設
名称	Blue Lab 1 号投資事業有限責任組合
所在	千代田区大手町 1 丁目 5 番 5 号
設立日	2025 年 12 月中（予定）
存続期間	10 年
投資期間	5 年
構成員	無限責任組合員：株式会社 Blue Lab 有限責任組合員：株式会社みずほ銀行

以　上